

# 音楽科学習指導案(小学校3年)

## I 題材名 せんりつのとくちょうをかんじとろう

## II 学習指導要領上の位置付け

### 内容 A 表現

- (1) ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。  
イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くこと。  
ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。  
    (ウ) 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能
- (2) ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。  
イ 次の(ア)及び(イ)について気付くこと。  
    (ア) 曲想と音楽の構造との関わり  
ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。  
    (ウ) 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能

### 内容 B 鑑賞

- (1) ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。  
イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付くこと。

本題材で扱う主な音楽を形づくっている要素

音色、リズム、旋律、変化

## III 目 標

旋律の特徴を感じ取りながら、曲想の変化を感じ取って聴いたり、曲想にふさわしい表現を工夫して歌ったりする活動を通して、表現への思いや意図がもてるようにする。

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 本時の展開（1／6）

- ねらい 「メヌエット」を聴き、旋律を歌ったり音高に合わせて体を動かしたりすることを通して、旋律の特徴と曲想との関連に興味・関心をもつことができるようにする。

### 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
<b>1 題材への興味・関心をもつ。（10分）</b>			
<p>○階名唱遊びをし、旋律の音高に合わせて体を動かす活動を通して、2年生で学んだ音の高さについて振り返らせるとともに、音の高さの変化から感じたことを問いかけることで旋律の特徴に親しみたいという意欲を喚起し、本題材で学ぶことについての動機付けをする。</p> <p>○「メヌエット」の<math>\boxed{\text{ア}}</math>を提示し、楽器の音色に合わせて演奏を模倣しながら聴くことで演奏形態に着目させる。</p> <p>○「メヌエット」の<math>\boxed{\text{ア}}</math>を聴き、感じ取ったことや聴き取ったことを自由に発言させ、表出した言葉を基にして、本時のめあてを引き出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"><p>めあて 音の上がり下がりに気を付けて聴き、曲のよさや面白さを見つけよう。</p></div>			
<b>2 中心となる音楽活動を行う。（20分）</b>			
<p>○<math>\boxed{\text{ア}} \rightarrow \boxed{\text{イ}} \rightarrow \boxed{\text{ア}}</math>の形式を確かめ、旋律の音高を捉えて体を動かしながら聴き、<math>\boxed{\text{ア}}</math>、<math>\boxed{\text{イ}}</math>の旋律の動きの違いに目を向けさせる。</p> <p>○旋律の動きの特徴を捉えられるように、<math>\boxed{\text{ア}}</math>、<math>\boxed{\text{イ}}</math>それぞれの最初の部分を図形楽譜で示し、旋律の音高やリズムを指でたどりながら聴かせる。</p> <p>○旋律の特徴を捉えて体を動かしている児童には、どうしてそのような動きになったかを問いかけ、感じ取った旋律の特徴と曲想との関わりに気付かせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto;"><ul style="list-style-type: none"><li>・旋律の特徴を感じ取る学習に興味・関心をもち、曲想の変化に気付いて聴く学習に進んで取り組もうとしている。（関心・意欲・態度）〈観察・発言〉</li><li>・旋律の音高を手掛かりに、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、旋律の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。（鑑賞）〈観察・発言〉</li></ul></div>			
<b>3 題材のめあてを知る。（5分）</b>			
<p>○旋律の音高やリズムを手掛かりに、旋律の特徴を押さえ、さらに旋律の音高に特徴のある既習曲をリコーダーで演奏してみることで、曲のよさや面白さの秘密を探って演奏に生かしたいという思いをもたせる。</p>			
<b>4 学習のまとめをし、学びを振り返る。（5分）</b>			
<p>○旋律の音高やリズムなどの要素により旋律が特徴づけられることに気付かせ、曲のよさや面白さが感じ取れたことを確認する。</p> <p>○旋律の特徴が生み出す曲想のよさや面白さを確かめ、題材でどんなことを学びたいかという思いを持たせることで、「旋律の特徴」に親しんで学習を進めることに期待感をもたせる。</p> <p>☆始めの部分は音の動きが少ないから、なめらかに踊る感じがする。中の部分は音の動きが細かいから、弾むように踊る感じがする。音高の上下が変わると曲の感じも変わって面白いな。</p>			

## V 本時の展開 (3/6)

1 ねらい 旋律の特徴を視覚化し、旋律の特徴にふさわしい表現をグループごとに試す活動を通して、どのように歌いたいかについて思いや意図をもつことができるようにする。

### 2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 学習への興味・関心をもつ。(5分)	○「あの雲のように」の楽譜と旋律線、歌詞を提示し、旋律の音高にあわせて強弱をつけて階名唱する活動を通して、本時の学習への意欲を喚起する。		
2 めあてをつかみ、見通しをもつ。(5分)	○各自がつかんだ「あの雲のように」の旋律の特徴を挙げ、特徴にふさわしい歌い方を試す活動を通して、音高の変化に伴う強弱や、リズムなどの音楽を形づくっている要素に気付かせ、グループで表現を追求するための見通しをもたせる。		
	めあて せんりつのとくちょうに合った歌い方を工夫してためそう。		
3 中心となる音楽活動を行う。(25分)	○グループに分かれて各自が捉えた旋律の特徴を挙げ、旋律の音高の動き、リズム、盛り上がる感じ、終わる感じなどの要素や歌詞から受けるイメージに目を向けながら特徴を生かした歌い方を考え、試すよう促す。 ○各グループの表現の工夫を全体で共有・共感できるよう、旋律の音高を図示し可視化する。 ○グループ表現の高まりを意図的に紹介し、中間発表の場を設定することでそれぞれのよさを実感させ、アドバイスし合うことでその後の学びを深めさせる。		
	旋律の音高を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら表現の仕方を工夫し、どのように歌うかについて自分の思いや意図をもっている。 (創意工夫) <観察・発言・ワークシート>		
4 学習のまとめをし、学びを振り返る。(10分)	○中間発表で高まった表現のよさや面白さを教師が価値付け、旋律の特徴にふさわしい歌い方を工夫して試し、表現を更新させることでより曲想を生かした表現ができたことを確認する。 ○工夫した自他の表現を共有・共感させ、本時の学びでできたことや分かったことをワークシートに書いて振り返らせる。同時に、次時に向けてやってみたいこと、試してみたいことなども書くように促し、次時への期待感をもたせる。		
	☆ゆったりとした感じを出したいから、優しい声で歌いたいな。		
	☆終わりは音がだんだん下がっているから、少しずつ弱くして終わる感じを出してみたい。		
	☆音が上がって気持ちが盛り上がるころは、だんだん強くして歌うといいと思う。		
	☆リコーダーで旋律を演奏するときも、歌い方の工夫を考えたことが生かせそうだな。		

## V 本時の展開（6／6）

1 ねらい グループで工夫した表現を演奏し合い、お互いに聴き合うことを通して、旋律の特徴を生かして表現することのよさや面白さを味わうことができるようにする。

### 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 学習への興味・関心をもつ。（7分）	○前時までに工夫した「ふじ山」の表現の中から、特によさや面白さを感じたものを問い掛け、全体で演奏することで今までの学習を想起させる。		
2 めあてをつかみ、見通しをもつ。（3分）	○前時に工夫した各グループの表現について、表現したい思いや意図と関連付けて想起させ、さらに自他の表現のよさや面白さに目を向けさせることで演奏し合う活動への期待感をもたせる。		
	めあて グループの「ふじ山」を発表し合って、そのよさやおもしろさを見付けよう。		
3 中心となる音楽活動を行う。（25分）	○グループのイメージと表現の工夫を伝えてから発表させ、聴き手はイメージと工夫点を意識しながら聴くように伝える。 ○表現のよさや面白さを、感じ取ったことと「旋律（曲の山）」「リズム」「変化」等の音楽を形づくっている要素とを関連付けて伝え合うよう促す。 ○各グループの表現の中で特によさや面白さを感じたものについては、意図的に一緒に演奏してみることで、そのよさや面白さを共有・共感できるようにする。		
	曲の山やフレーズを感じ取りながら、旋律の動きが生み出す曲想にふさわしい表現で歌っている。（技能）<演奏聴取>		
4 学習のまとめをし、学びを振り返る。（10分）	○各グループの表現のよさや面白さを振り返り、旋律の音高 やリズムなどの要素から旋律の特徴や曲の山を捉えることができ、さらに旋律の特徴に合わせて強弱や発声の仕方を工夫することでイメージに合った表現ができることを自覚させる。 ○題材を通して学んだことを「音高」「リズム」「音色」等の音楽を形づくっている要素とその働きの視点でまとめるとともに、学んだことをどのように生活に生かしたいかを伝え合い、生活との関わりからの視点も含め題材全体を振り返らせる。 ☆音の上がり下がりや強弱には関係があることが分かった。いろいろな曲の旋律の特徴を調べて、これからも歌い方や演奏の仕方を工夫したいな。 ☆自分たちの「ふじ山」をリコーダーボランティアの人に聴いてもらって、思いが伝わるような演奏がしてみたいな。		

指導計画 音楽科 第3学年 題材名「せんりつのとくちょうをかんじとろう」(全6時間計画)

目標	旋律の特徴を感じ取りながら、曲想の変化を感じ取って聴いたり、曲想にふさわしい表現を工夫して歌ったりする活動を通して、表現への思いや意図がもてるようにする。			
評価規準	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
	① 旋律の音の上がり下がりを手掛かりに、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取って聴いたり歌ったりする学習に進んで取り組もうとしている。	① 旋律の音の上がり下がりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら表現の仕方を工夫し、どのように歌うかについて自分の思いや意図をもっている。	① 旋律の特徴が生み出す曲想にふさわしい、自然で無理のない歌い方で歌っている。 ② 曲の山やフレーズを感じ取りながら、旋律の動きが生み出す曲想にふさわしい表現で歌っている。	① 旋律の音の上がり下がりを手掛かりに旋律の特徴を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り (意識)	◇評価規準 (評価方法)
つかむ	1	○「メヌエット」を聴き、旋律を歌ったり手で音の高さの上下を表したりしながら楽曲の特徴を感じ取り、旋律の特徴に興味・関心をもつ。  音の上がり下がりに気をつけて聴き、曲のよさやおもしろさを見つけよう。	☆始めの部分は音の動きが少ないから、なめらかに踊る感じがする。中の部分は音の動きが急だから、弾むように踊る感じがする。音の上がり下がりが違うと曲の感じも変わって面白いな。	◇ア① エ① (観察・発言)
追求する	2	○「あの雲のように」を聴き、前時に学習した「メヌエット」と比較しながら旋律の特徴を捉え、歌唱する。  「あの雲のように」のせんりつのみみつを見つけて歌おう。	☆「あの雲のように」は、音の動きが少ないから「メヌエット」の始めの部分と似て、なめらかな感じがする。 ☆歌ってみたら、音の高さが上がるころは気持ちが盛り上がる気がした。どうしてだろう。不思議だな。	◇ウ① (観察・発言・ワークシート)
	3	○前時までに学習した旋律の特徴を基に、どのように歌いたいという思いや意図をもつ。  せんりつのとくちょうに合った歌い方を工夫してためそう。	☆ゆったりとした感じを出したいから、優しい声で歌いたいな。 ☆終わりは音がだんだん下がっているから、少しずつ弱くして終わる感じを出してみたい。 ☆音が上がって気持ちが盛り上がるころは、だんだん強くして歌うといいと思う。	◇イ① (観察・発言・ワークシート)
	4	○グループで工夫した歌い方を聴き合い、表現の工夫と旋律の特徴との関わりについてまとめ、工夫した歌い方に合わせてリコーダーで副次的旋律を演奏する。  せんりつのとくちょうに合ったリコーダーの演奏を工夫しよう。	☆グループでお互いの工夫を聴き合ったら、自分たちの工夫と友達の工夫が似ていた。リコーダーの旋律も、歌のように工夫して、曲のよさをもっと伝えたい。 ☆リコーダーと歌を合わせて演奏すると、音が重なる響きを感じられて楽しい。	◇イ① ウ① (観察・発言・ワークシート)
まとめる	5	○「ふじ山」の旋律の特徴を捉え、どのように歌いたいか思いや意図を持って歌う。  「ふじ山」のせんりつのみみつに合った歌い方を工夫して歌おう。	☆3段目から4段目の旋律を線で表してみたら、山の形になった。山の頂上に向かって音が上がっているから盛り上げて歌いたいな。 ☆だんだん強くしたい時、歌う人数を増やしていくとどうなるかな、試してみよう。	◇イ① ウ② (観察・ワークシート・演奏聴取)
	6	○グループで工夫した表現を発表し、お互いに聴き合うことでよさや面白さを交流し、表現の高まりを共有・共感する。  グループの「ふじ山」を発表し合って、そのよさやおもしろさを見付けよう。	☆音の上がり下がりや強弱には関係があることが分かった。いろいろな曲の旋律の特徴を調べて、これからも歌い方や演奏の仕方を工夫したいな。	◇ウ② (演奏聴取)